2025　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	理学療法士学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義演習
科　目　名	理学療法治療学（脳血管疾患）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	普通教室　機能訓練室
担 当 教 員	土居潤平	実務経験とその関連資格	「理学療法士」神経機能解剖学について研究及び神経系理学療法を行っていた。			

《授業科目における学習内容》

脳血管疾患の理学療法を行う上で必要となる神経科学の基礎と脳機能解剖学を学び、理学療法を実施するために必要な基礎を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

平常点（10%）、試験（90%）
※試験は学習単元ごとに分割して実施する場合もある

《使用教材（教科書）及び参考図書》

脳卒中理学療法の理論と技術　第4版　、　配布資料

《授業外における学習方法》

講義内容は自分なりにノートにまとめること。

《履修に当たっての留意点》

試験（定期試験、小テスト）で不正行為が認められた者は、履修規定第4章16条に従い、当該科目を無効とする。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の構造と機能を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する（60分） 大脳の構造と機能
		各コマにおける授業予定	大脳皮質機能局在、大脳基底核ループ、小脳回路網、視床、辺縁系、脳幹		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳卒中の種類と発症機序	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する（60分） 大脳の構造と機能
		各コマにおける授業予定	臨床病型、脳梗塞の臨床カテゴリー、脳出血について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能障害	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する（60分） 脳の血管
		各コマにおける授業予定	中枢性運動麻痺、伸張反射異常、筋緊張異常、姿勢反射障害		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚障害	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する（60分） 脳の血管
		各コマにおける授業予定	感覚鈍麻、身体図式障害、運動失調		
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	身体機能障害評価	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する（60分） 病型分類
		各コマにおける授業予定	総合評価、片麻痺機能検査、感覚検査、筋緊張検査、失調スケール		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	特徴的な異常な動作	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 急性期の病態
		各コマにおける授業予定	マン・ウェルニッケ肢位、ぶん回し歩行、トレンデレンブルグ徴候、ワイドベースなど		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の血管解剖学	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 回復期の病態
		各コマにおける授業予定	ウィリス動脈輪、各大脳動脈の走行と支配域		
第8回	講義演習形式	各コマにおける授業予定	脳画像の評価	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 維持期の病態
		各コマにおける授業予定	形態画像、機能画像について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期理学療法のリスク管理	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 注意障害
		各コマにおける授業予定	脳血流自動調節能、fogging effect、diaschisis		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期理学療法	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 失行
		各コマにおける授業予定	運動麻痺回復のメカニズムに依拠したステージ理論、急性期のポイント		
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	肩手症候群	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 脳画像
		各コマにおける授業予定	アームスリング、上肢訓練		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	回復期理学療法	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 脳画像
		各コマにおける授業予定	回復期リハビリテーションのポイントと注意点		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行訓練と装具療法	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 理学療法の実際
		各コマにおける授業予定	装具の種類、歩行訓練のポイント		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 目標設定と予後予測
		各コマにおける授業予定	国試問題解説		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 第1-14回の復習(60分)
		各コマにおける授業予定	国試問題解説		

2025　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学(脳血管疾患)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	普通教室　機能訓練室
担 当 教 員	土居潤平	実務経験とその関連資格	「理学療法士」神経機能解剖学について研究及び神経系理学療法を行っていた。			

《授業科目における学習内容》

脳血管疾患の理学療法を行う上で必要となる神経科学の基礎と脳機能解剖学を学び、理学療法を実施するために必要な基礎を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

平常点(10%)、試験(90%)
※試験は学習単元ごとに分割して実施する場合もある

《使用教材(教科書)及び参考図書》

脳卒中理学療法の理論と技術　第5版　、　配布資料

《授業外における学習方法》

講義内容は自分なりにノートにまとめること。

《履修に当たっての留意点》

試験(定期試験、小テスト)で不正行為が認められた者は、履修規定第4章16条に従い、当該科目を無効とする。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の評価を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 急性期について
		各コマにおける授業予定	運動機能検査、ADL評価		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の評価を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 急性期について
		各コマにおける授業予定	運動機能検査		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の評価を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 回復期について
		各コマにおける授業予定	運動機能検査		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の動作分析を学ぶ	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 回復期について
		各コマにおける授業予定	基本動作		
第20回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の動作分析を学ぶ	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 生活期について
		各コマにおける授業予定	歩行		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の介助方法を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 生活期について
		各コマにおける授業予定	基本動作の介助		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の介助方法を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) クリニカルリーズニングについて
		各コマにおける授業予定	移乗介助、歩行介助		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具を用いた理学療法を理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) クリニカルリーズニングについて
		各コマにおける授業予定	KAFO、AFO		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	物理療法を用いた理学療法を学ぶ	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 姿勢・動作観察
		各コマにおける授業予定	電気治療、筋電図		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	ニューロリハビリテーションの概念を学ぶ	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 姿勢・動作観察
		各コマにおける授業予定	ニューロリハビリテーション		
第26回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	クリニカルリーズニングを理解する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 姿勢・動作観察
		各コマにおける授業予定	クリニカルリーズニング		
第27回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	クリニカルリーズニングを実践する	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) 姿勢・動作観察
		各コマにおける授業予定	クリニカルリーズニング		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例検討	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) ボバース治療
		各コマにおける授業予定	症例検討		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	症例検討	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 講義の復習する(60分) ボバース治療
		各コマにおける授業予定	症例検討		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例検討	脳卒中理学療法の理論と技術、配布資料	事後学習 16回-29回の復習(60分)
		各コマにおける授業予定	症例検討		